

# 健やかな心身支援部計画

## 1 目標

笑顔の登校、満足の下校

～「行きたい学校」と胸張って言えるドバイ日本人学校にしよう！～

## 2 基本方針

- (1) 優しく、温かいつながりを基本にし、自律性を身につけることのできる教育の推進
- (2) 相手の立場になって考え、行動できる児童生徒の育成
- (3) 保護者との連携・協力を図り、迅速・誠実で組織的な対応
- (4) 豊かな関わり合いの中でたくましい心と体を培う教育の推進

## 3 本年度の重点

- (1) 基本的生活習慣の充実  
(あいさつができる子 時間を守る子 整理整頓をする子)
- (2) 安全意識の向上  
(廊下歩行、遊び時の事故防止)

## 4 具体的な指導計画

### (1) 積極的な児童生徒指導の推進【心】

#### ①「あいさつ・じかん・くつならべ」の推進

##### 『あいさつ・へんじ』

- ・すすんで気持ちの良いあいさつができるようにする。(まずは、職員から)
- ・気持ちの良い返事ができるようにする。

(例) 「おはよう」「こんにちは」「さようなら」「ありがとう」「ごめんなさい」  
「はじめまして」「失礼します」「失礼しました」等

##### 『じかん』

- ・時計を意識しながら、計画的に行動できるようにする。

##### 『くつならべ』

- ・くつをそろえて並べることができるようにする。
- ・「くつならべ」を通して、整理整頓がきちんとできるようにする。

#### ②児童生徒に寄り添う指導

- ・児童生徒の行動の変化に気づくために、休み時間や昼食時など学習時間以外でも関わり合いを大切にしていこう姿勢を持つ。

#### ③教科担任制を生かした全職員による児童・生徒の支援

- ・ふれあいアンケートを活用し、各学年で気になる児童生徒の名前をあげ様子を伝える。その上で意見交換・共通理解を図り、全職員で児童生徒を支援していく。

#### ④児童生徒会の活用

- ・『活力のある学校』するために、児童生徒が主体となって活動を推進していく。

### (2) 豊かな関わりの中での体力向上の推進【体】

#### ①年間を通じた体力向上の推進

- ・「さわやかタイム（1学期縄跳び、2学期よさこい、3学期マラソン）を行い体力の向上に努める。
- ・部活動（中学部）を実施し、たくましい心と体を育てる。
- ・スポーツクラブ（小学校上学年）を実施し、体力の向上を図る
- ・「マラソンカード」を作成し継続して運動をする習慣を身につける。

#### ②「遊び」の推進

- ・ドバイタイム、昼休みでの子どもたちの「遊び」を促し、豊かな関わり合いの中で体力を向上に努める。

## 5 最後に

「行きたい学校」にしていくには、「帰りたい家」「住みたい地域」が必要である。つまり、学校、家庭、地域が協力して、子どもたちの健やかな成長を見守っていくことが大切である。